



満洲引き揚げを描く迫真の大作 縦3m×横20m **高知展**

ワンシーチー

王希奇「一九四六」

開催
日時

2021年11月28日(日)～12月5日(日) 11月29日(月)休館
9時30分～18時30分 最終日16時まで

会場名

高知市文化プラザかるぽーと7階 市民ギャラリー第1展示室
高知市九反田2-1 ☎ 088-883-5011 (開催期間のみ)

入場料

入場料 前売り 1,000円
当日 1,200円
学生・高校生以下無料

チケット
発売所

高新プレイガイド・県立美術館ミュージアムショップ・
高知市文化プラザかるぽーとミュージアムショップ・
金高堂書店本店・こうち生活協同組合コープよしだ・
コープかもべ

関連企画

宝田明 講演会

「俳優として人間として ～ 満洲の歴史から平和を学ぶ～」
2021年12月2日(木)14:00～16:00(開場13:30) かるぽーと2階 小ホール

無料
定員
100名



主催 王希奇「一九四六」高知展実行委員会

特別協力 学校法人城西国際大学、宮城・王希奇「一九四六」展を支援する会、王希奇「一九四六」高知展学生実行委員会
助成 (公財)高知県文化財団、(公財)土佐山内記念財団

後援団体 高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会、香川県、高知新聞社、四国新聞社、徳島新聞社、愛媛新聞社、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、朝日新聞高知総局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、NPO高知県日中友好協会、日中友好協会高知支部、(公財)高知市文化振興事業団、高知大学、自治労高知県本部、高知県平和運動センター、高知県平和委員会、連合高知、高知県労連、高知県自治労連、高知県生活協同組合連合会、こうち生活協同組合、高知医療生活協同組合

王希奇「一九四六」高知展学生実行委員会



ホームページ



Instagram



Twitter

彼らは胸に何を抱き、その目で何を見ているのか・・・

遺骨を抱えた子供 老人を背負う男性
負傷者を担架で運ぶ看護婦 遺影に語りかけ涙をぬぐう仕草の少年
ぐったりとした赤子に乳を与えようとする母親

帰還の港にかろうじてたどり着き引き揚げ船へ向かう数百人の人びとが
克明に描かれた20mの絵画、ゆっくり歩いてみてほしい



王希奇 略歴

画家。中国錦州市に生まれる。魯迅美術学院油絵学部に通じる。中国美術家協会会員。
東洋的墨絵の要素を西洋油絵に自然に融合させた画風で評価される。特に歴史をテーマとする創作を得意とし、その独特な画風とオリジナルな視点で国内外の注目を浴び、既存の流派に属さない独立した芸術家と評される。なかでも、国家金メダルを獲得した《三国志・赤壁の戦い》(合作)、中国国家重大歴史題材美術創作プロジェクト入選作品《長征》、《遼瀋戦役 攻克錦州》(合作)および《官渡の戦》などの大型絵画が代表作である。油絵のほか、墨絵の《回声》、《高原人》、《聴雷》などの作品も全国美術作品展に入選。数多くの作品が中国美術館、中国国家歴史博物館、中国国家軍事博物館などに収蔵されている。
近年では、2012年から2017年にかけて、葫蘆島港より105万人余の残留日本人の大送還をテーマとした大作《一九四六》(縦3×20メートル)をはじめ、関連するシリーズ作品計50点を制作した。

王希奇「一九四六」高知展 開催趣意書

日本敗戦後、旧満洲(中国東北部)にいた日本人約155万人は、過酷で悲惨極まりない状況におかれていました。翌年5月頃からようやく引き揚げが始まり、葫蘆(蘆)島港からは約105万人が引き揚げてきました。その葫蘆(蘆)島港からの引き揚げの象徴的な写真集の中に「母親の骨箱を抱えた子供」を目にした中国人歴史画家・王希奇氏は自らの心の葛藤を乗り越え、「戦争ではいつの時代も弱者が苦しむ。彼らも戦争の被害者だ。」という強い思いのもとに油絵と墨絵の融合による独特の技法で引き揚げ船に乗る憔悴しきった数百人の姿を描き出しました。作品は縦3m横20mに及ぶ大作であり、作者の強烈な平和への願いが感じられます。また、芸術的にも優れた、見る価値のあるものです。
この作品の過去の国内での絵画作品展は、東京都(2017.9.28~10.5)、舞鶴市(2018.9.28~12.2)、仙台市(2019.10.1~10.6)で開催されました。高知での絵画作品展が終了すれば「一九四六」は中国へかえることになっています。
高知県の満蒙開拓団送出国数は10482人(人口比 全国3位)で、約2000人が亡くなっています。引き揚げ75周年にあたる2021年、高知で絵画作品展を開くことは大きな意義があると考え、企画しました。

満洲開拓団 高知県市町村の主な動き (『高知県満洲開拓史』より)

1934年10月21日	瑞穂村開拓協同組合(16県の混成)31名(1001名中)
1936年	朝陽村開拓協同組合(中国・四国・九州の混成)24名(1029名中)
1937年	黒馬劉四国村開拓団(四国四県)45名(428名中)
1938年3月	四合屯高知開拓団(高知)228名
1938年	哈達河開拓団(全国混成)13名(1029名中)
1939年2月8日	柞木台開拓団(徳島・愛媛・高知)198名(577名中)
1939年3月25日	平安高知開拓団(高知全県の分郷の集合)831名 (他に北海道9戸徳島3戸)
1939年4月15日	大連泡高知開拓団(中村町・佐賀町・白田川村・具同村 その他)115名
1939年7月	下欧根土佐郷開拓団(高岡郡・長岡郡・土佐郡一円)373名
1939年	東黒馬劉予士阿村開拓団(高知・徳島・愛媛)45名(304名中)
1939年	湖水別林葉(宮城・熊本・高知ら6県) ? (158名中)
1940年	欧根久礼郷開拓団(久礼町その他)216名
1941年3月10日	那吉屯高北郷開拓団(旧日下村、加茂村その他)293名
1942年3月26日	大清溝江川崎開拓団一分村一(江川崎村)356名
1942年3月31日	金堂雲井開拓団一分村一(中土佐町)163名
1942年	杏木岡高知開拓団(高知市、一部県下一円)381名
1943年1月	海南高知開拓団(吾川郡小川村 下八川村)307名
1943年5月	万山十川開拓団一分村一(十和村)547名
1944年3月1日	新城高岡開拓団一分村一(土佐市高岡町)61名
1944年3月	大土佐開拓団(10ヶ市町村の総合組織)1682名
	吾川郡 神谷村 246名 清水村 140名
	幡多郡 大正村 273名 津大村 124名
	安芸郡 安芸町 172名 川北村 137名
	井ノ口村 203名 吉良川村 82名
	野根村 41名 羽根村 83名
1944年4月29日	初月郷開拓団(高知市)163名
1944年	報国農場(飲馬河)奉仕隊(高知農業会)300名
1945年3月	海域名野川開拓団(名野川村)39名先遣隊のみ
1945年	虻牛硝高南開拓団(高知市長浜)143名

満蒙開拓青少年義勇隊 1938年1月設置を決定

高知県では昭和13年度(1938年)第一期生募集に182名入所
終戦までに1331名。(移行開拓民と義勇隊訓練生)

1944・45年	第5次不二義勇隊開拓団 186名
1944年2月13日	寧安訓練所広瀬中隊 172名

ほか第1、2、3次の全国混成団に在団しているが資料がなく、人員・氏名は不明



■住所 〒781-9529 高知市九反田2-1

- アクセス
- 高知駅より
- とさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分
- 菜園場町下車 徒歩3分
- とさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分
- 車で5分
- 高知インターチェンジより
- 車で10分
- 高知龍馬空港より
- 車で30分
- 空港連絡バスで30分
- はりまや橋観光バスターミナル下車 徒歩1分
- 地下有料駐車場
- 通常料金 8:30~22:00 30分ごと 150円
- 深夜料金 21:30~翌日9:00 1,010円
- 収容台数 200台 ●営業時間 8:30~22:00

■問い合わせ先 王希奇「一九四六」高知展実行委員会 088-872-0540(小野)